

令和6年度 事務事業マネジメントシート

令和6年度 事務事業マネジメントシート		事務事業No.		7-	7
事業名	塵芥処理経費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施 策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集する。 また、粗大ごみについては、個人が年4回、家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分する。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1 町民1人あたりのごみ排出量	190	183	179	kg/年	↓	231
	2 不法投棄件数	38	32	61	件/年	↓	↓
	3						
	4						
	5						
			令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)
全体事業費(千円)			283,809		282,973		311,303
財源内訳	うち一般財源	261,942		261,750		289,236	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	より安全なごみ収集方法を検討する。	③取組の課題	塵芥収集車の使用方法に課題がある。
②R6年度に実施した取り組み	より安全なごみ収集を実施するため、来年度の業務形態を関係者と協議し合意した。	④今後の改善計画	塵芥収集車の使用方法を変更する。